

第77回 定例研究会 3月16日(金) 於:静岡県評会議室

『静岡方式で行こう!!』

青少年就労支援ネットワーク静岡の活動紹介

報告者: 竹内弘行 氏 (青少年就労支援ネットワーク静岡 副理事長)

竹内弘行氏から、若者就労支援「静岡方式で行こう!!」の活動内容を報告頂きました。

1.何が課題か

求人先にフリーター・ニートの採用意思を聞くと、「積極的に正社員として採用」と答えた所は、わずか1%です。高卒で20~24歳の正規雇用者比率(2007年)は、男性で58%、女性で34%となっています。

就労不安定者の抱える問題として「人に話すのが不得意」(64.4%)という特性があります。また学校や職場などの集団で、うまく行かなかった経験を過半数の人が持っています。

2.解決策

伴走型支援の有効性が確認されています。「静岡方式」のネットワークには、静岡県全域で55名ほどのジョブサポーターがいます。

第44回浜松支所 所員会議

3月29日(木) 於:西部地区労連

永桶憲一氏(浜松支所事務局長)より「次世代自動車はどこへ行くのか」として発表がありました。

経済産業省の「次世代自動車戦略研究会」が一大ビジネスチャンスを目論んでいます。その中で組織能力と複雑化、安全性、ユーザのニーズ、摺り合わせ技術の伝承、将来の交通体系などの問題点が指摘されました。

また日本独自の技術を生かすこと、新たな動力を模索することが提起されました。

「静岡方式」のねらいは「働き続ける力の向上」と「できるようになることで自分を認めていく」ことです。「就職」が目標ではありません。

3.さあ、行動へ

過去ではなく未来を見ること、小さな変化を起こすこと、自分をほめること、周囲に感謝することなどが重要です。

サポーターの心得

若者には一人のサポーターが付く、若者と係わる姿勢は自分で決めて良い、「やりたいことがわからない」という若者にはサポーターから選択肢を示す、就労体験先と連携する、親と連携する、すぐに結果が出なくてもあせらない、病気や障害の可能性に気を配るなどが挙げられます。

第49回理事会

3月19日(月) 於:静岡県評会議室

春のシンポジウムの内容を検討

春のシンポジウム「就労支援の現状と課題」の内容を中心に、所報の発行、最低生計費ブックレット発行記念会、夏のセミナー、中間総会と記念講演などについて検討しました。

【今後の日程】

4月14日(土) 13:30~16:30

春のシンポジウム 於:静岡労政会館

「就労支援の現状と課題」

5月25(金) 18:00~

ブックレット発行記念会 於:コマトラ

6月23日(土) 13:00~

夏のセミナー 於:静岡県評会議室

*連絡先: 〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 コハラサウスサイドビル 7F

静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>